

非接触安全スイッチ CSS 180

■ 製品概要

CSS180 はヒンジ・スライド型の可動式ドアの安全監視を行うために開発された非接触安全スイッチである。閉状態でのモニタリングはコード化アクチュエータにより行われる。本製品は非接触式センサ規格 (EN 60947-5-3) 及び PDF 等級の M クラス (自己監視)、並びに制御カテゴリ 4 (EN954-1) に準拠する。さらには機能安全に関する最新規格 IEC 61508 における SIL 3 クラス (PFH Value $< 5.5 \times 10^{-9}$) のアプリケーションに適合する。(使用条件: 対応安全リレーユニット使用時)



■ センサ直列接続



複数個のセンサを鎖状にして直列に最大 200m まで接続することが可能。1 個のセンサからの冗長出力は、隣のセンサの入力となり自己監視され、最後のセンサの出力が安全リレーユニットに印加される。但し、EN954-1 により鎖間の交差短絡は検出されなければならない。また、長距離の検出時は温度・電圧降下などを適切に考慮し、設計されなければならない。

■ 自己診断機能



センサ ON 状態

センサ OFF 状態

エラー検出状態

エンドキャップ部が 3 色に発光することで、センサ自体での運転状態の診断が可能である。センサからの診断出力により、本来の安全出力よりも先に非常時にはシステムを停止することが可能となる。

本件お問合せは、シュメアザール日本支社迄。